

# 平成25年度 おおさき福祉の心コンクール

主催…社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会  
共催…社会福祉法人 宮城県共同募金会  
後援…大崎市・大崎市教育委員会・(株)大崎タイムス社

## 入賞おめでとうございます

次世代を担う小・中学生に福祉活動を通じて、「思いやり」や「支えあい」の心を定着させ、地域福祉活動やボランティア活動への関心を高め、活動参加や福祉の心を育むことを目的に、「おおさき福祉の心コンクール」を実施いたしました。それぞれの部門に、合計一、〇六四点という沢山の作品を応募いただき、ありがとうございました。入賞された皆様をご紹介します。  
(敬称略)

### ◆福祉作文の部

- ◆小学生の部
  - ◆最優秀賞 東大崎小学校 六年 五十嵐 凛
  - ◆優秀賞 鹿島台小学校 五年 櫻井 七葉
  - ◆優良賞 岩出山小学校 四年 宇和野 有倫
  - ◆優良賞 古川第一小学校 六年 青沼 樹
  - ◆優良賞 東大崎小学校 四年 大和田 萌
  - ◆優良賞 古川第一小学校 五年 西巻 未祐
- ◆中学生の部
  - ◆最優秀賞 松山中学校 一年 知野 結
  - ◆優秀賞 松山中学校 一年 松龍 生
  - ◆優良賞 鳴子中学校 三年 鈴木 あかね

### ◆福祉ポスターの部

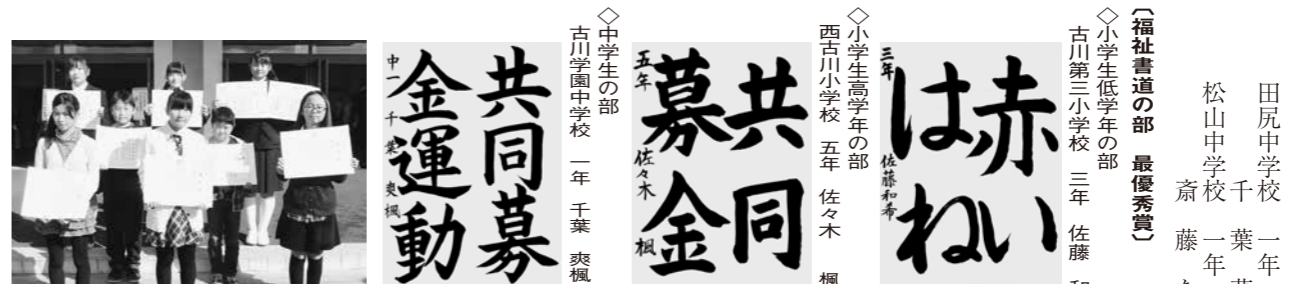
- ◆小学生の部
  - ◆優良賞 松山中学校 二年 早坂 望美
  - ◆優良賞 鹿島台小学校 二年 小野 彩音
  - ◆優良賞 古川南中学校 一年 笠原 くらら
  - ◆最優秀賞 沼部小学校 五年 松浦 結子
  - ◆優秀賞 松山小学校 四年 木皿 大翔
  - ◆優良賞 上野目小学校 四年 菅原 綺羅々
  - ◆優良賞 岩出山小学校 五年 阿部 理玖
  - ◆優良賞 鹿島台小学校 六年 阿部 奏子
  - ◆優良賞 西古川小学校 三年 門間 百桃
  - ◆最優秀賞 古川北中学校 三年 佐々木 梨湖

### ◆福祉標語の部

- ◆小学生の部
  - ◆最優秀賞 鹿島台第二小学校 五年 斎藤 拓望
  - ◆優秀賞 古川第二小学校 五年 佐々木 雄太
  - ◆優良賞 鹿島台小学校 五年 松浦 楓人
  - ◆優良賞 松山小学校 二年 多田 久輝
  - ◆優良賞 松山小学校 六年 佐藤 稜真
  - ◆最優秀賞 古川第二小学校 五年 佐々木 綾香
  - ◆優良賞 松山中学校 一年 知野 結
  - ◆優良賞 古川学園中学校 三年 中鉢 絢貴
  - ◆優良賞 松山中学校 一年 瀬戸 彩花
  - ◆優良賞 古川学園中学校 三年 小林 諄樹
  - ◆優良賞 古川学園中学校 二年 星野 莉子
  - ◆優良賞 古川学園中学校 三年 鎌田 一輝

### ◆福祉書道の部

- ◆小学生低学年の部
  - ◆最優秀賞 古川第三小学校 三年 佐藤 和希
  - ◆優良賞 鹿島台小学校 三年 斎藤 和光
  - ◆優良賞 沼部小学校 三年 佐々木 このは
  - ◆優良賞 富永小学校 二年 大谷 華加
  - ◆最優秀賞 古川第五小学校 二年 櫻田 彩乃
  - ◆最優秀賞 池月小学校 三年 佐々木 愛華
  - ◆優良賞 西古川小学校 五年 佐々木 楓
  - ◆優良賞 古川第三小学校 六年 鈴木 菜月
  - ◆優良賞 田尻小学校 六年 戸羽 優依
  - ◆優良賞 富永小学校 六年 佐々木 澄佳
  - ◆優良賞 古川第四小学校 六年 小野寺 晴香
  - ◆優良賞 岩出山小学校 六年 岩嶋 彩季
  - ◆優良賞 古川黎明中学校 三年 菅 爽楓
  - ◆優良賞 古川黎明中学校 二年 岩 汐里
  - ◆優良賞 古川黎明中学校 三年 遠藤 瑠奈



最優秀賞を受賞した皆さん

## 私達と高齢者との支え合い

大崎市立東大崎小学校 六年 五十嵐 凛

### 福祉作文の部 小学生の部 最優秀賞

私の祖母は、大崎市の保健推進委員をしています。地いき住民の健康をい持・促進するための活動をしていて、様々なイベントのお手伝いをしています。ある日の朝、私が起きると、祖母は大量の煮物を作っていました。

「ばあちゃん、そんなに何に使うの」と私が聞くと、祖母は、「今日のここにこ会に持っていくんだよ」と答えました。ここにこ会というのは、私が住んでいる地区の高齢者達が集まって、持ちよつたものを食べながら、話をしたり、レクリエーションをしたりして交流を深める行事だそうで、高齢者のこどく死や認知しょうを防止する目的があるといひます。高齢者の方々が楽しみながら、たがいに支え合って健康に過ごしているという事にとても感心しました。それと同時に、私も高齢者の方との交流の活動にとても興味がありました。



その後すぐ、保健推進委員の活動で小学生の私達が地区の老人会の人達といっしょにスマイルボーリング

というスポーツをすることにまりました。祖母から話聞いていましたが、高齢者の方と実際にふれ合ったり、高齢者の方の笑顔を見ていると、心の奥からとても温かい気持ちが出てきました。私だけでなく、みんなそうだったようで、歩くのが大変な高齢者には自然とかたをかしてあげたり自分達から優しい声をかけたりする子がたくさん見られました。終わつた後には、高齢者の方から、「子供達がみんな孫のように思えて楽しかった。」という感想をいただきました。私達の方こそ行事を通じて高齢者の方からたくさんの知識をいただき、また、たくさんの優しさを感じました。

今、日本では、少子高齢化の時代といわれています。私達子供と高齢者の方は、様々な面で弱者と言われることもあり、私の親の世代に助けをもらわなければならぬ場合もあります。私達と高齢者の方がたがいに助け合い、支え合って、過ごしていく事ができればもつともつとたくさんの事ができる可能性があると私は思ひます。そのためにも、子供と高齢者の交流の場をもつともつと増やし、私達ひとりひとりと思ひやりや支え合いの心をもつと育てていく必要があると感じます。

## 支えあい

### 福祉作文の部 中学生の部 最優秀賞

大崎市立松山中学校 一年 知野 結

いつもあんなに元気だった祖母が、一度転んでから外に出るのが怖くなつたりしい。家の中では、普通に歩いて過ごしているが、一度怖い思いをして以来、一人で出歩かなくなつた。以前は、楽しそうに週に何回も行つていたパークゴルフにも行かなくなつてしまった。パークゴルフの友達から電話がかかってきても、毎回、毎回断わる祖母の背中がとてかわいそうだった。

外で転んだ直後は、歩く時足が前に出なくなつてしまったので、家族皆、心配をして病院でみてもらう事にした。MRIなど検査をしたものの、全て異常なし。後は心の問題と日々年老がっていく体を維持する事だと医師に告げられた。何も体に異常が無くても、とされたが、どうしてあげればいいのか分からなかつた。

外で生き生きとしていたあの頃の祖母に戻って欲しいとつくづく思う。私何が何をしてあげられるのか、改めて振り返ってみたいと思ひます。休みの日は、できるだけ祖母と散歩にでかけた時、買い物に行つた時には、手をつなぐなど、手助けをしてあげられるが、私が中学生にもなると、祖母と手をつないで歩くのも恥ずかしい。だから、私は祖母に何



もしてあげられて

支えるのも難しい、幼児とは違い、祖母に手をつないで歩いてもらつていたが、今では逆になつてしまつた。私も祖母に恩返しをするつもりで、手をつないだり支えてあげたいと思ひます。人の支えになるのも、色々と勇気のいる事だと改めて気づかされた。

今こうして、私は何となく生活しているが、いつかはだれしも、人の助けや支えを必要として生きていくことになる。

支えるのも難しい、幼児とは違い、大人は自分で出来る事なら自分でやりたいと思ひます。だから、手をさしのべていいのかが、手をさしのべてしまつたら相手の人がいやな気持ちになつてしまふのか判断するのが難しい。

支えるという事は、きつと心の支えと手助けをするという事の両方が大事だと思ひます。支えてもらう日が来るだろう。でも、今は人を支えてあげられる存在なのだから、忘れず、相手の人が「ありがとう」と素直に思つてくれるような行動のできる優しい人でありたい。

これからの、私は祖母を精一杯支えていきたいと思ひます。支える側として、その人が笑顔になつてくれるだけで心からうれしと思ひます。祖母が元気であってほしいだけで、私も支えられていく。これこそが「支えあい」なのではないだろうか。祖母がまた元気にパークゴルフができるようになるまで、手をつないで、一緒に一歩一歩、歩いていきたいと思ひます。